利籐暢君の思い出

井上 直斗（平成 31 年卒）

利籐と私はお互いが大学 2 年生頃に出会いました。それからというもの、共に、実に豊かな青春の日々を歩んできました。信頼の置ける同期でありながら、その一方で常に彼の明るく元気な人柄に尊敬を抱いていました。そんな彼とは、たくさんの山へ登り、たくさんのお酒を飲み、たくさんの楽しい時間を共に過ごしました。私が一足先に大学を卒業して早稲田を離れた後も、連休には一緒に山に登りに行ったり、SNS で連絡をとりあったりなど、変わらぬ付き合いをしていて、まさしく青春を共に過ごした友でありました。

葛葉川本流、軍刀利沢、槍ヶ岳北鎌尾根、冬季白毛門、冬季鳳凰三山、北アルプス全山縦走、冬季甲斐駒ケ岳、鳥屋町沢、その他ハイキングやクライミングジムなど、一言では語り尽くせない程の実に多くの山を登りました。

槍ヶ岳北鎌尾根にて

その中でもいくつか印象深い思い出があります。その一つは、2018 年の夏休みに行った、北アルプス全山縦走です。この合宿では、利籐の周りを明るくする能力に改めて驚かされました。上高地から入山し、山に入ってから何日目か忘れてしまうほど日が経過した日、白馬岳のテント場に泊まった我々は、台風の接近で停滞を余儀なくされました。大雨でテントが浸水し、強風で揺れに揺れて中にいる我々にへばりついて来る、そんな過酷な状況でしたが、利籐が歌を歌ったり、笑いを取ったり、色々と喋ったりすることで、過酷ではありましたが、笑いが絶えずどこか楽しく過ごすことができました。常から思っていましたが、彼の周りを明るく楽しくする能力に改めて凄いなあと、感心させられた時でした。

そのような困難を明るく乗り越え、台風一過の次の日、晴天の気持ち良い中を白馬岳～栂海新道まで歩きました。通常のアルプスのイメージとは大きく違う栂海新道に感動させられたことは、今でも昨日のことのように思い出すことができます。そして栂海新道で一夜を明かし、翌日、晴天の日本海をついに見た時、皆で歓声をあげました。あれほど美しい海はこれまで見たことがなかったし、これからも見ることはないでしょう。最高の仲間と北アルプスを越えてきて、最後に見た日本海。いつまでの私の心の中で輝き続ける最高の思い出です。

北アルプス全山縦走を終えて親不知にて

冬の南アルプスに行ったことも印象深い思い出です。鳳凰三山、甲斐駒ケ岳と二回ほど行きましたが、どちらでも、やはり利藤の周りを明るくする能力に助けられました。鳳凰三山を登った時、大寒波の襲来と重なり、寒くて凍えてる時、利藤がウイスキーを飲むと暖かくなるぞと言って、一緒に山中で軽くお酒を飲んだことを思い出します。飲んだことで暖かくなるというよりも、そのように楽しくひと時を過ごしたことで、気持ちが前向きに明るくなり暖かくなったことが強く印象に残っています。

利藤と過ごした日々は私の青春そのものであり、とてもここで書ききれるものではありません。利藤がくれた膨大な素晴らしい思い出を受け継いでいきたいと強く思います。

そして今の私があるのは、素晴らしい青春の日々をくれた利藤のおかげです。本当にありがとう。

冬季白毛門

利藤くんの思い出（HP より一部抜粋）

2016 年雪上訓練

2017 年新人合宿

2017 年軍荼利沢から三国山へ

稲門山の会新年会にて

2018 年 OB 合同ハイキング石老山にて

2018 年雪上訓練　東天狗岳山頂にて